

委員会等活動報告

倫理委員会の これからの活動に向けて

1. まえがき

バブル崩壊後の 2000 年前後には、東海村原子力臨界事故、雪印食中毒事件など、組織が起こした不祥事が続出し、技術者倫理の重要性が謳われていました。また、技術士法も 2000 年に改訂され、「公益確保」「資質向上」の責務が追加されるなど、技術者倫理について十分な理解とそれに基づく行動が求められるようになりました。

このような時代背景のもと、平成 20 年 6 月に会員数 13 名にて「倫理問題研究会・準備会」が発足しました。その後名称は「倫理研究会」となり、「北海道で活動している技術者に対して、技術者倫理の啓発・普及を図る」ことを目的とした活動を目指しました。しかしながら、ほぼ全員が技術者倫理に関しての知識がなく、会員の倫理的思想の醸成を目標に勉強会的な活動に留まりました。

その一方で、道内で活躍している技術者に対して、技術者倫理の啓蒙・普及を図ることを目的とした「技術者倫理フォーラム～公衆から信頼される技術者になろう～」を 7 回開催しました。さらに、道内の地方技術士委員会で講演を行うなど、多くの方に技術者倫理に関する話を聞いて頂き、多少なりとも倫理観の向上に寄与したのではないかと考えております。

また、今年で 3 年目になりますが、道内工業高等専門学校での技術者倫理に関する共同授業や、大学への講師派遣など対外向けの活動も盛んに行うようになりました。今後も更なる活動の活性化を目指して、継続研鑽を重ねていく覚悟でおります。

今 井 淳 一 (いまい じゅんいち)

技術士(建設部門)

北海道本部
倫理委員会委員長



2. 技術者倫理フォーラムの歩み

今年で 7 回目を向かえた技術者倫理フォーラムの歩みの概要を以下にまとめてみました。

第 1 回フォーラム(2010.03.05 共済サロン)

基調講演：科学技術社会的観点からの技術者倫理

田岡直規技術士(中部支部 ET の会)

研究報告 2 題：倫理研究会メンバー 4 名

第 2 回フォーラム(2011.5.31 札幌ガーデンパレス)

基調講演：改定『技術士倫理綱領』が目指すもの

水野正勝技術士(倫理要綱小委員長)

研究報告 2 題：倫理研究会メンバー 4 名

第 3 回フォーラム(2012.5.17 ポールスター札幌)

基調講演：「3.11 以降の原子力・放射線部会の活動を倫理事例として考える」

桑江良明技術士(原子力・放射線部会長)

研究報告 2 題：倫理研究会メンバー 4 名

第 4 回フォーラム(2013.5.22 札幌ガーデンパレス)

基調講演：「組織としての技術倫理における企業倫理憲章の活用」

水野朝夫技術士(ET の会)

研究報告 2 題：倫理研究会メンバー 4 名

第 5 回フォーラム(2014.5.23 ポールスター札幌)

基調講演：「安全文化：安全目標とその実現に向けて倫理の課題」

杉本泰治技術士(技術者倫理研究会 会員)

活動報告：「技術者倫理と武士道：倫理教育を通じて」

富澤幸一技術士(倫理委員会委員)

第 6 回フォーラム(2015.5.22 ポールスター札幌)

基調講演：「安楽死と倫理」～プロセスとしての終末期医療～

札幌医科大学講師 船木 祝氏

活動報告：「旭川工業高等専門学校における共同授業について」

今井淳一技術士(倫理委員会幹事)

事例研究報告 1 題：倫理委員会メンバー 2 名

第 7 回フォーラム(2016.5.20 ポールスター札幌)

基調講演：「Well-being ～倫理共育への期待～」

旭川工業高等専門学校教授 岡田 昌樹 氏

講演 2：「技術者の職務義務と積極的倫理」

富澤 幸一技術士(倫理委員会委員)

事例研究報告 1 題：山本 肇技術士(倫理委員会委員)

上記のように、技術者倫理に関わる技術士の方々を主とした基調講演と、委員会メンバーによる事例研究報告・活動報告を主体に開催してきました。

3. 技術者倫理に関する研究活動

倫理委員会では年間 6 回の定例会を継続して開催しており、技術者倫理に関する事例研究を主体に各委員個人の自己啓発を行っております。

○事例研究による委員各個人の自己啓発

「建設技術者のための倫理問題事例集(社団法人地盤工学会)」「実務の役立つ技術倫理(日本技術士会登録技術図書刊行会)」などを参考に、この 7 年で 30 を超える倫理問題の事例に対して「線引き・相反問題」「功利主義・個人尊重主義」「リスクアセスメント」や「セブンスステップガイド」等を用いたケーススタディを行い、委員会メンバーの活発な議論を通じて倫理観の醸成を図ってきました。

○各委員によるミニ講演会

各委員がその時々の技術者倫理に関するトピックや時事問題について、各委員の倫理観に関連する所感などについて話題提供・講演を行い、意見交換・議論を行っています。

4. 技術者倫理教育への参画

○北海学園大学

2014 年度から、北海学園大学工学部社会環境工学科 3 年生に対する「技術者倫理」科目へ講師(富澤委員)を派遣しております。



富澤委員による倫理教育風景

○旭川工業高等専門学校

旭川工業高等専門学校専攻科 1 年生に対する技術者倫理共同授業への講師(2 年間で延べ 21 名の委員が参画)を派遣しております。



倫理委員会委員による倫理教育風景

5. 委員会として新たな取り組み

倫理委員会では、技術者倫理教育への積極的な参画を目標とした新たな取り組みとして「若手技術者」や「技術系の学生」を対象に、技術者倫理に関する「汎用的で判りやすいテキスト」づくりを行っており、活動を通して今後、普及したいと考えています。

これまでの事例研究ではネガティブな事件や事故、失敗事例のケースについて「技術者としてどう行動すれば良かったか」といった「べからず」的な対応であることが多く、倫理的に成功した事例は表に出ないのが実情ではないかと思います。

そこで、若手技術者や技術系の学生に向けた倫理教育として、「下町ロケット」のドラマのように一人の技術者が頑なに会社の上層部を説得し、会社の「コンプライアンス違反」が公になる前に、技術者の倫理的行動によって未然に防いだことで会社の危機が回避された、と公には明るみには出ないが、実際にはあり得るような疑似事例を創作して、若い技術者が興味を持ってもらえる事例を取り上げたいと考えています。

ここ最近、技術者倫理に関する事件が多く報道されており、北海道内でもいくつか不祥事が起きています。このような事態を鑑み、我々、倫理委員会に課せられた役割を重く受け止め、特に若手技術者への倫理教育に積極的に参画していくことを使命として、これからも活動していきたいと考えています。

以 上